

立命館大学アート・リサーチセンター  
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点  
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
 2020年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2021年4月24日 提出

1. 研究課題名	
第三期役者評判記本文を中心とする役者評判記総合情報書庫構築の研究 (英文表記: A Research Project on Construction of Comprehensive Digital Archives Focusing on the Third Phase Yakusha Hyobanki)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
〔日本語〕 神楽岡 幼子 〔ローマ字〕 Kaguraoka Yôko	〔日本語〕 愛媛大学法文学部・教授 〔英語〕
3. 研究分担者 (合計:7名)	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
赤間 亮(あかま りょう)	立命館大学・文学部
倉橋 正恵 (くらはし まさえ)	立命館大学衣笠総合研究機構・プロジェクト研究員
黒石 陽子 (くろいし ようこ)	東京学芸大学教育学部・教授
齊藤 千恵 (さいとう ちえ)	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館・招聘研究員
野口 隆 (のぐち たかし)	大阪学院大学経済学部・教授
水田かや乃 (みずた かやの)	歌舞伎学会・会員
金子 貴昭 (かねこ たかあき)	立命館大学衣笠総合研究機構・准教授

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>役者評判記は、歌舞伎の演技や役者の動向、興行の実態などを追うことのできる基本的な演劇資料である。そのために、万治から明和期(1658-1772)の役者評判記を翻字した『歌舞伎評判記集成』の第一期・第二期(岩波書店、1972-1977・1987-1995)がすでに刊行され、安永から享和期(1772-1804)を対象とした第三期(和泉書院、2018-)の刊行も進んでいる。</p> <p>本研究では、第三期の対象となる役者評判記について、ARC のクラウドやデータベースを活用しながら翻字テキストデータの正確性を高めつつ、用字の問題、諸本異同の問題等、役者評判記の諸問題を分析することにより、より有効な役者評判記の活用のあり方を提示し、また、蓄積された正確な翻字本文を索引データベースとして構築し、さらなる広範な利用を実現することを目的とする。</p>

## 5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

古典籍ポータルデータベース(役者評判記閲覧システム)や番付ポータルデータベース、歌舞伎・浄瑠璃役名検索システム、人名典拠資料データベース(役者移動索引データベース)、文化人・芸能人 人物名データベース、芸能用語索引データベースを活用しながら、役者評判記テキストデータの高精度化を行った。それにあたり、本拠点のクラウド領域を活用し、データ構築の進行管理や、難読箇所などの情報をメンバー間で共有しつつ実施した。結果、高精度化したテキストデータの一部(安永十年～天明四年、14点)について、『歌舞伎評判記集成』第三期第四巻として公刊した(2021年2月)他、第五巻以降に所収する評判記データの整備を進捗させた。

## 6. 研究業績 (日本語以外に英語名称もあるものは、できるだけ日英両言語でご記入ください)

## (1) 著書

- ・役者評判記研究会編、『歌舞伎評判記集成』第三期 第四巻、共著、2021年2月、和泉書院、全484頁

## (2) 論文

- ・齊藤千恵、「二代目市川團十郎の俳名「栢菴」小考：二代目の長寿祈願をめぐって」、単著、2020年5月、演劇研究会会報46号、pp.15-26、査読無

## (3) 研究発表等

- ・該当無し

## (4) 主催したシンポジウム・研究会等

- ・該当無し

## (5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

- ・該当無し

## (6) 受賞学術賞

- ・該当無し

## (7) 科学研究費助成事業

- ・神楽岡幼子、「歌舞伎評判記集成 第三期 第四巻 自安永十年 至天明四年」、研究成果公開促進費(学術図書)、2020年4月、採択
- ・神楽岡幼子、「第三期(安永～享和期)役者評判記の出版に関する総合的研究」、基盤 B、2021年4月～2026年3月、代表、申請・採択
- ・神楽岡幼子、「歌舞伎評判記集成 第三期 第五巻 自天明七年 至寛政三年」、研究成果公開促進費(学術図書)、2021年4月、申請・採択

## (8) 競争的資金等(科研費を除く)

- ・該当無し

## (9) その他